

私たちの祖先が遺し、
今に伝える歴史文化を巡る

熊本県山鹿市菊鹿町。
ここでは豊かな自然の
中に、さまざまな時代の
歴史や文化を目の当た
りにすることができる。
その一つひとつに奥深い
物語が刻まれており、私
たちに大切な何かを伝
えてくれる。その何かを
探し、感じる旅。「1」や
「2」を通して、新しい発
見の旅に、ぜひ出かけて
みてください。



なぜ、このような奥地に、1350年前の
古代山城跡が存在するのか・・・

鞠智城跡

大和政権期の日本にとって 欠かせない山城

山鹿市菊鹿町米原(よなばら)地区。高台には、歴史公園「鞠智城(きくちじょう)」「国史跡」が整備されている。城と名が付いているものの、一般に馴染みのある石垣があり、天守閣を構えるような建築物ではない。東京ドーム12個分にも及ぶ広大な敷地の中に、シンボリック存在の八角形鼓楼や米倉、兵舎が復元されている。古代山城と言われ、すべて木造建築である。



鞠智城跡(八角形鼓楼)

達した現代とは違い、人の移動や物資輸送など、多くの労力と時間が必要だったはず。国防という国家の根幹に係わる重要な役割を担っていたと想像できる。



灰塚展望所からの眺望

時代は1350年前の大和政権期。663年の朝鮮半島における白村江(はくすきのえ)の戦いで敗れた大和政権は、半島や大陸からの防衛のために各地に

「ガイド施設「温故創生館」では、鞠智城が築かれた時代や

山城を築いた。鞠智城は、九州を統治していた大宰府やそれを守るための大野城、基肆(きい)城に武器や食糧を送る基地だったと考えられている。補給基地として重要な城のため、このような奥地に築かれたのだろう。それにしても、交通手段の発

その役割、城の構造について、展示と映像で学ぶことができる。そして、公園内をゆっくりと散策しながら、復元された建物などをしたり、展望所からの眺望を楽しんだりしてみよう。きっと、1350年前の古代への時間旅行を体感できるだろう。



温故創生館

営 / 9:30~17:15(入館は16:45まで)
休 / 月曜日(祝祭日の場合は翌日)
12/25~1/4
※園内の散策は年中可能
間 / 0968-48-3178



鞠智城をPRするイメージキャラクター「ころう君」

ゆるキャラグランプリ(2019年)で3位を獲得するほどの人気もの。公園内を巡回したり、全国各地で鞠智城の魅力を発信したりと活躍中。



菊池川流域の米づくりの歴史が「日本遺産」に認定
菊池川流域は、鞠智城跡をはじめ、二千年にわたる米づくりの歴史が今も伝わる地として2018年に文化庁より「日本遺産」に認定された。まさに、おいしいお米、食文化が育まれている地と言える。

PICK UP!



主な温泉施設

- 花富亭 0968-48-3141
- 延命館 0968-48-2139
- 恵温泉 0968-48-3538
- 菊翠苑 0968-48-2066



防人も疲れを癒した!? 歴史ある秘湯「菊鹿温泉」

菊鹿温泉は、かつては合瀬川(あわせがわ)温泉と呼ばれ、古くより自噴していたといわれている。トロリとした良質な泉質は「化粧の湯」とも呼ばれ、知る人ぞ知る秘湯として、リピーターも多い。

ろ〜りすべすべ!